

**第61回日本核医学学術総会並びに第41回日本核医学技術学会学術大会併設展示会  
新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大予防対策に於ける現場運用マニュアル**

**搬入：2021年11月2日～3日**

**会期：2021年11月4日～6日**

**搬出：2021年11月6日**

**2021年10月28日**

**作成者：一般社団法人日本画像医療システム工業会**

## 展示会の概要

開催展示会：第61回日本核医学学術総会並びに第41回日本核医学技術学会学術大会  
併設展示会

会期：2021年11月4日（木） 9:30 開会式～17:00  
5日（金） 9:00～17:00  
6日（土） 9:00～12:00

会場：名古屋国際会議場  
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号  
[www.nagoya-congress-center.jp/](http://www.nagoya-congress-center.jp/)

展示予定規模：27社

来場登録予定数：500名（3日間合計）

学会概要：第61回日本核医学会学術総会  
会長：外山 宏（藤田医科大学医学部放射線科）  
会場：名古屋国際会議場  
会期：2021年11月4日（木）～6日（土）

第41回日本核医学技術学会総会学術大会  
大会長：石黒 雅伸（藤田医科大学病院放射線部）  
会場：名古屋国際会議場  
会期：2021年11月4日（木）～6日（土）  
会場：名古屋国際会議場

## 延期および中止を判断する基準・プロセス

### 判断基準

令和2年9月19日付「名古屋国際会議場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（次ページ参照）によるガイドライン遵守の徹底等の対策を施すことにより、イベントの開催は可能であることを確認した。

- ・ガイドラインの順守の徹底

### 延期および中止を判断する基準

- ・全国に緊急事態宣言が発出された場合
- ・官公庁・自治体から中止要請が来た場合

# 名古屋国際会議場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

## 名古屋国際会議場における 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

令和 2 年 9 月 19 日  
名古屋市観光文化交流局 MICE 推進室

国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針、専門家会議新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡、愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針及び市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン等（以下、「国方針等」とする。）並びに当地域の感染状況等を踏まえ、名古屋国際会議場について、本ガイドラインに従って適切な感染防止対策等を講じたうえで、開館する。

- ・本ガイドラインは、当面の間運用することとし、国等の動向を踏まえ更新等を行う。また運用終了時期は当地域の感染状況等を踏まえ、総合的に判断する。
- ・本ガイドラインを順守しない使用者（主催者）に対しては、使用を許可しない、又は使用の許可を取り消すことができるものとする。

### 1. 使用者（主催者）が順守する事項

- 感染者が出た時の追跡調査のため、来場者（観客・出演者・設営スタッフ等含む。以下同じ。）など場内に入る人の連絡先を把握する。
- 来場者に対して、国から提供されている新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールするよう促す。
- 来場者の検温を行い、37.5 度以上の発熱がある場合は入場しないよう要請する。
- 来場・入場を控えてもらった場合の対応（広い戻し措置等）を規定する。
- 以下に該当するスタッフは従事させない。
  - 37.5 度以上の発熱がある人
  - 咳・咽頭痛等の症状が認められる人
  - 過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者と濃厚接触がある人
  - 過去 2 週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした人及び過去 2 週間以内に同様の症状にある人との接触歴がある人
  - その他、感染の疑いの不安がある人
- スタッフの手洗い・消毒、マスク着用等による咳エチケット、身体的距離の確保等「新しい生活様式」等国方針等に基づく行動を徹底するとともに休憩や食事の分散を図る。
- 厚生労働省の示す方法に従い、定期的な窓の開放による換気又は機械換気を行う。※運用方法については、施設管理者と調整を行うこと。
- 以下の事項に取り組み密集の発生が想定されないようにする。

物の開催制限」に従う。  
例とする等参加人数の管理を

置（導線の確保等）を講じる。  
れないようにする。  
、アナウンスを行わない。  
所は 2 m 以上距離をとるか、ア  
ク  
。扉を空け（1 m、できれば 2 m）、  
配置するか、アクリルボード設置

る。  
終了後に消毒する。  
場合は、速やかに保健センター、  
実施に協力する。  
か、業種ごとに策定される感染  
止のための取組を適切に行う。  
場合は、愛知県にイベント開催要件

者に周知する。順守しない来場者  
う体制を整備する。

に協力する。

目後の観察期間を必要とされてい  
の在住者と濃厚接触がある人  
や服薬等をした人及び過去 2 週間  
人

ケット、身体的距離の確保等「新  
徹底する。

- ・新玉のインストール（COCOA）をインストールするよう努める。
- オ. ラップ等の鳴り物や大声での会話（イベントによる）等、感染リスクの高い行為を行わない。
- カ. イベント前後や休憩時間においても三密（密集、密接、密閉）の環境を避けるほか、食事等での感染防止を徹底する。
- キ. 感染が明らかになった場合は、保健センター等の感染追跡調査等の実施に協

同様とする。

着等による咳エチケット、身体  
く行動を徹底する。

できれば 2 m）配置する。  
は、2 m 以上の距離をとるか、ア  
飛沫感染防止措置を行う。  
扉を空け（1 m、できれば 2 m）、  
配置するなど業種ごとに策定され  
染拡大防止のための取組を適切に

しては市から直接指示する  
品計などを使用者に無償貸与（測

どの共用部に設置する。  
態する。  
出入口扉を常時開放にするなど人

と考えられるため、蓋を閉めて汚  
を止める。  
場合は、速やかに保健センターに  
るとともに、各施設内の消毒作業  
とする。  
について使用者に徹底する。また、  
る。  
ど共用部に掲示し、来場者に周知

## 役割分担と責任範囲

主催者と会場はコロナ発生を未然に防ぐために、お互い協力して最大限の事前対策を行う。

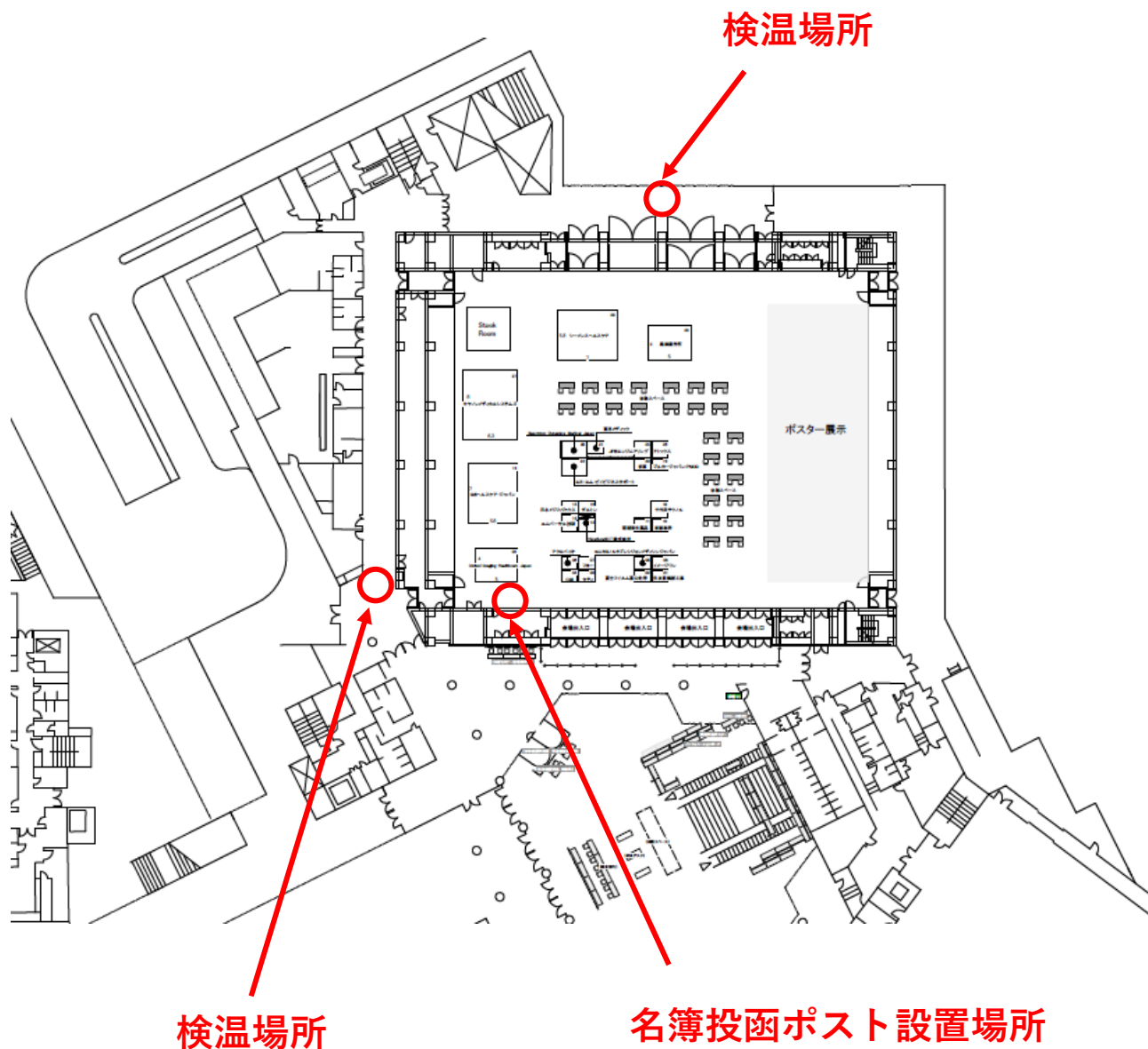
また主催者と会場は、新型コロナウイルス発生予防および発生時の役割分担（別紙新型コロナウイルス感染症拡大防止対策組織編表）によって、両者は誠意をもって対応する。

発熱者やコロナ感染症の疑いのある方が発生した場合、次ページ以降の対応フローに基づき、事務局より保健所に連絡する。保健所等の指導に従い対策を協議する。



## 出展者及び関係者の入館について（搬入・搬出時）

搬入搬出時の入場際下記場所で、JIRAにて検温・手指消毒を行います。係員の指示に従いご入場をお願いいたします。  
検温後にリボン(日毎)をお渡しするので見える場所に付けてご入場下さい。  
また、搬入・搬出時に展示会場に入られた方の名簿提出を退出時に本部事務局前ポストに投函をお願いいたします。



## 出展者及び関係者の入館フロー（搬入・搬出時）

全てJIRAにて実施

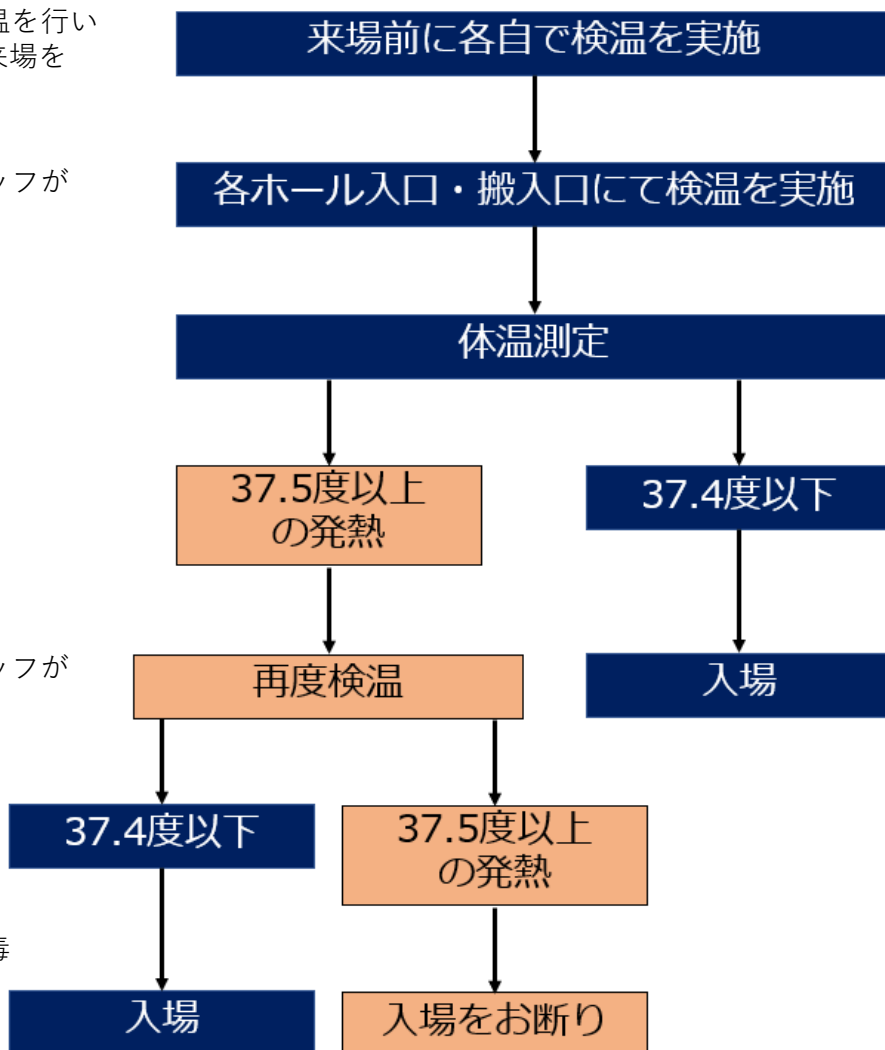
会場へ来る前に各自で検温を行い  
37.5度以上が出た場合は来場を  
不可とする

体温測定器を配置しスタッフが  
目視で検温

発熱の有無を測定

非接触型の体温計でスタッフが  
再度検温

会場入口にてスタッフが  
がりボンを配布後手指消毒



以下の条件に当てはまる方はご来場をお断しております。

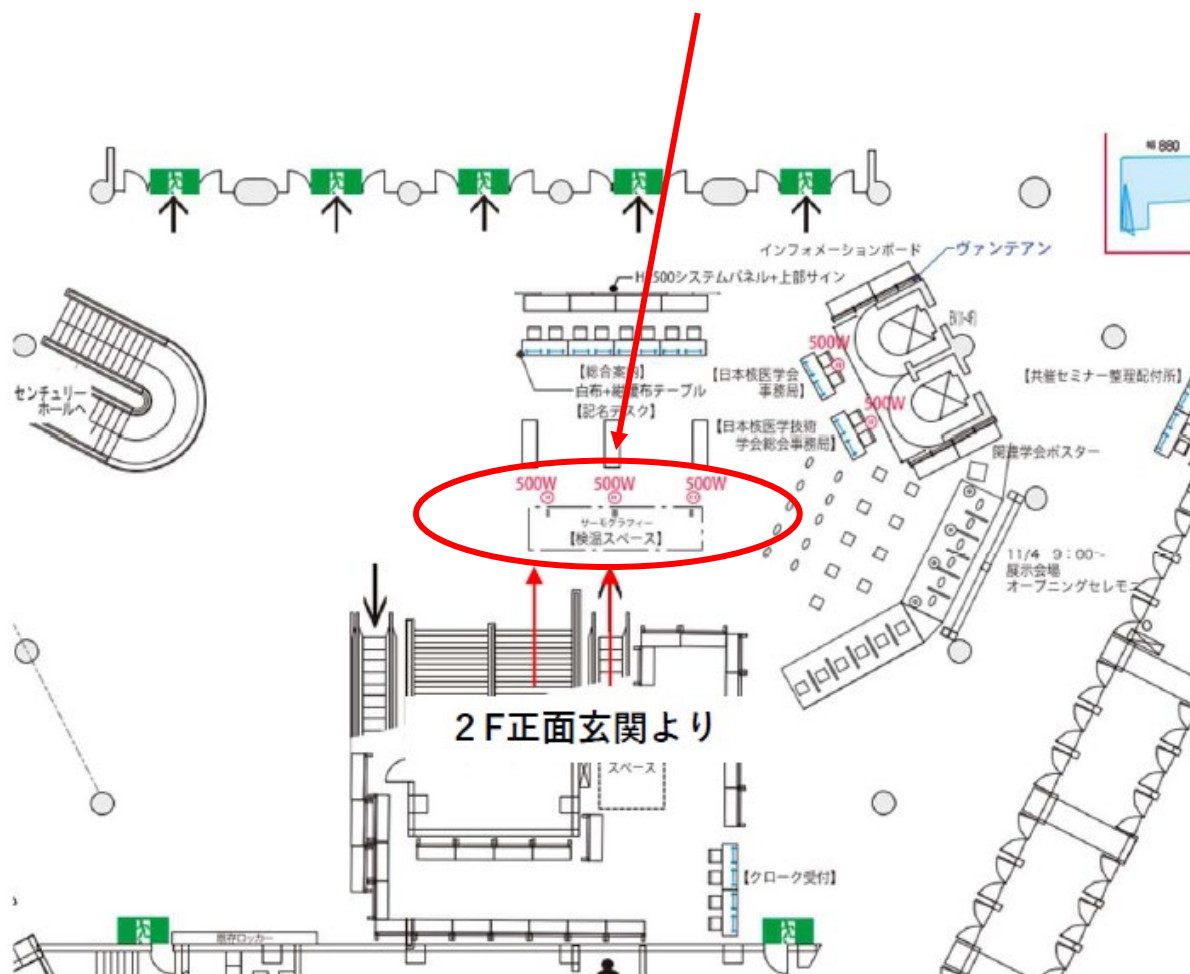
- A) 37.5 度以上の発熱がある人
- B) 咳・咽頭痛等の症状が認められる人
- C) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者と濃厚接触がある人
- D) 過去 2 週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした人、及び同様の症状にある人との接触歴がある人
- E) その他、感染の疑いの不安がある人

## 出展者及び関係者の入館について（会期中）

会期中の入場際下記場所で、大会側にて「健康状態申告フォーム」の確認、検温を行います。係員の指示に従いご入場をお願いいたします。

**展示会場入場の際検温済シールのご確認をさせていただきます。  
検温済シールの無い方の展示会場への入場はできません。  
必ず総合案内前大会検温スペースにて検温をお願いいたします。**

### 健康状態申告フォーム内容確認 検温スペース





## 出展者及び関係者の入館フロー（会期中）

会場へ来場する前に、オンラインで「健康状態申告フォーム」にて、その日の健康状態をご入力ください。  
申請フォームで報告を完了すると、入力したE-mailアドレス宛に入力内容が自動で配信されますので、会場ではその内容が分かるもの（スマホ画面、もしくは自動返信のメール文面を印刷したもの）をお持ちください。  
※携帯端末を持っていない、画面の印刷ができない方はご相談ください。

### <健康状態申告フォーム（PC版画面）>

第81回日本感染症学会学術大会・第41回日本感染症学術学会学術大会 健康状態申告フォーム(11/4)

【11月4日(木)の健康状態について】  
ご申請は、受付完了メール画面をご確認ください。お手持のスマートフォンで登録可能なメールアドレスをご入力ください。

**認知**

【質問1】 2週間以内に新型コロナウイルス感染症との濃厚接触がありましたか。  
※ [回答1] 回答 ○ はい ○ いいえ

【質問2】 37.5度以上の発熱、倦怠感、息苦しさ、腹痛・嘔吐の症状、味覚・嗅覚異常など、体調の不調はありませんか。  
※ [回答2] 回答 ○ はい ○ いいえ

**氏名**

※ 姓 (漢字)

※ 名 (漢字)

**ご連絡先**

※ E-mail

※ 電話番号 (携帯・ハイフォン)

※ 「受付完了メール」が届かない場合は、お申し込みのメールアドレスに誤りがある場合がございますのでお手数ですが事務局にご連絡下さい。

新型コロナウイルス感染症発生時には、感染経路特定等の理由により国・自治体などの公的機関の要請により個人情報を開示することをお知らせいたします。

リセット 確認

毎日、来場前に健康状態申告フォーム  
（大会HPに入力フォームへのリンクあり。URL下記参照）  
から、その日の健康状態を入力する。

設問に1つでも「はい」の回答があった場合は  
上記の入場制限対象に該当するため、入場を制限します。

感染者が発生した場合、日ごとに誰が来場したのかを  
会場へ報告する必要があります。

また、保健所等からの指導により、来場者へ連絡をする  
必要がある場合がありますので、必ず記載されていることを  
確認してください。

<申告フォームURL> ※下記URLへは大会HP上にリンクがございます。

健康状態申告フォーム(11/4) …[https://www.entry-sys.net/jsnmjsnmt2021/user/8\\_11/input.php](https://www.entry-sys.net/jsnmjsnmt2021/user/8_11/input.php)  
健康状態申告フォーム(11/5) …[https://www.entry-sys.net/jsnmjsnmt2021/user/8\\_12/input.php](https://www.entry-sys.net/jsnmjsnmt2021/user/8_12/input.php)  
健康状態申告フォーム(11/6) …[https://www.entry-sys.net/jsnmjsnmt2021/user/8\\_13/input.php](https://www.entry-sys.net/jsnmjsnmt2021/user/8_13/input.php)

## 出展者及び関係者の入館フロー（会期中）

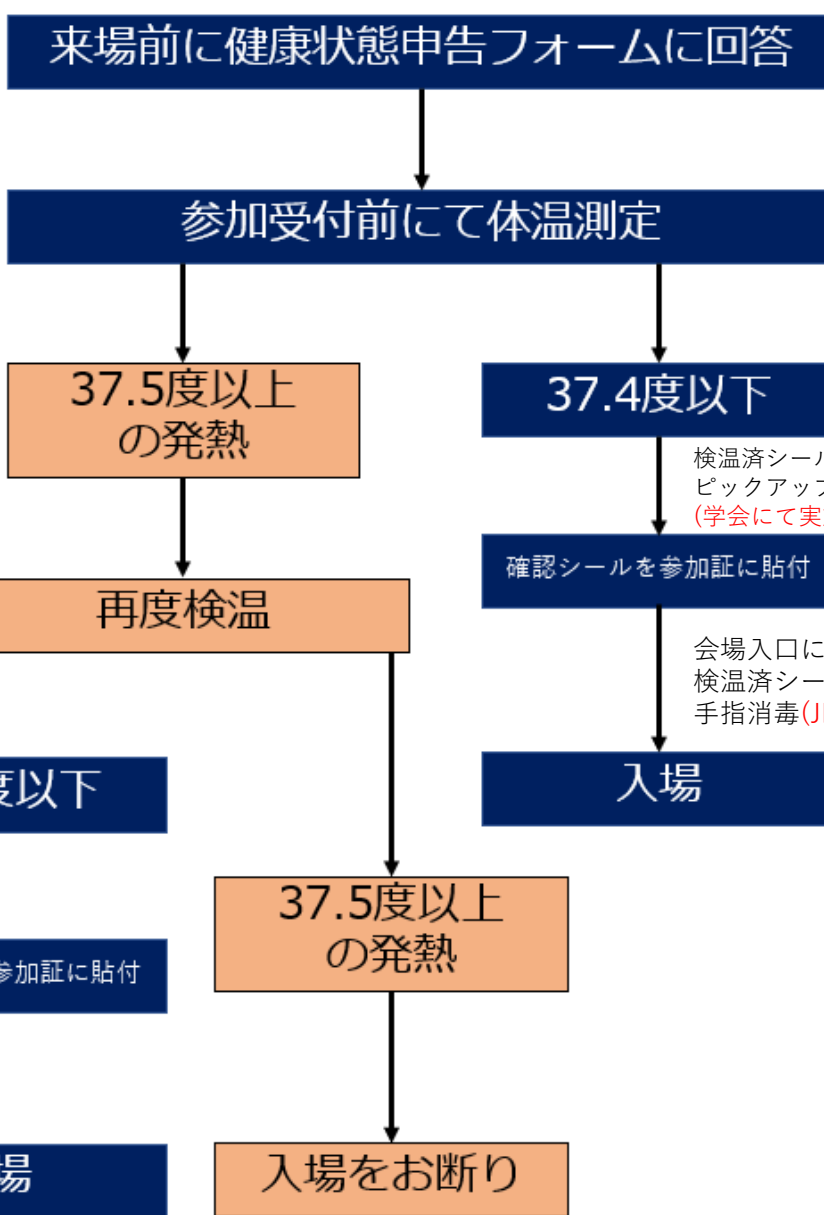
学会HPより健康状態  
申告フォームに回答  
しメールを受信  
(学会にて実施)

受診メール画面もしくは  
をメール文章を印刷  
したものを提示後サー  
マルカメラによる検温発熱  
の有無を測定  
(学会にて実施)

(学会にて実施)

検温済シールをセルフ  
ピックアップ  
(学会にて実施)

会場入口にてスタッフが  
検温済シールを確認後  
手指消毒(JIRAにて実施)

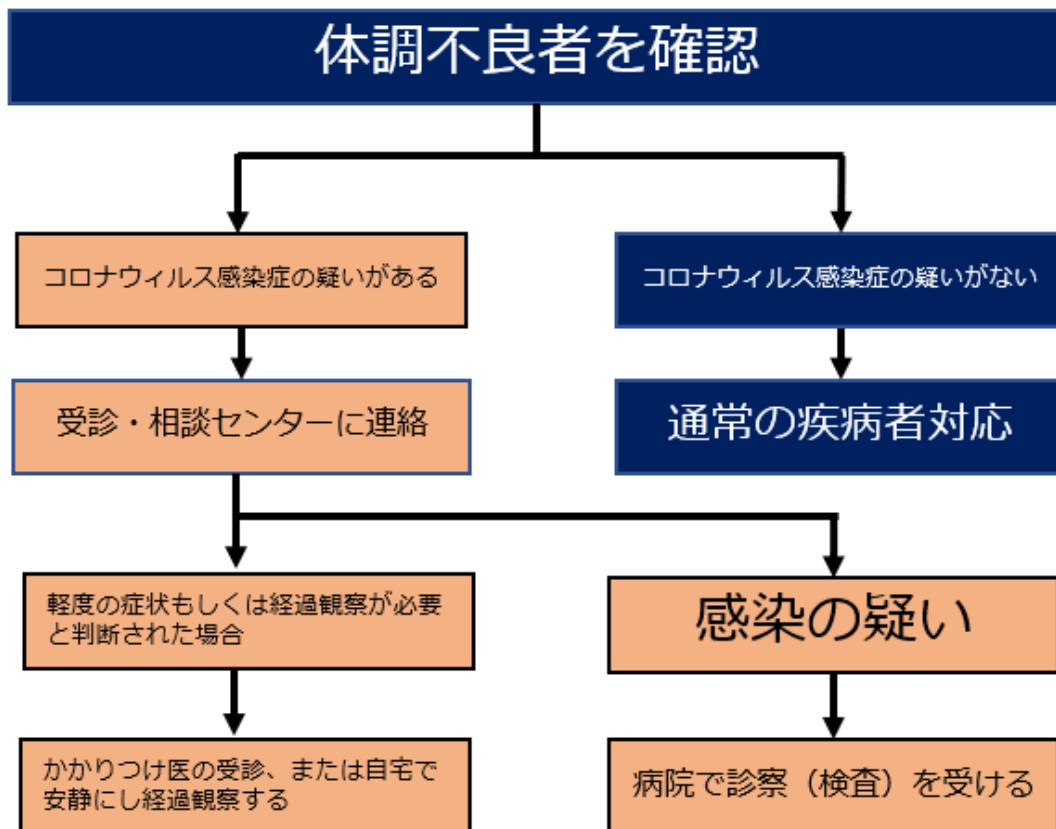


**検温済シールの無い方の展示会場への入場はできません。  
必ず総合案内前大会検温スペースにて検温をお願いいたします。**

以下の条件に当てはまる方はご来場をお断しております。

- A) 37.5 度以上の発熱がある人
- B) 咳・咽頭痛等の症状が認められる人
- C) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者と濃厚接触がある人
- D) 過去 2 週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした人、及び同様の症状にある人との接触歴がある人
- E) その他、感染の疑いの不安がある人

## 体調不良者が発生した場合の対応フロー



※新型コロナウイルス感染の疑い等の問題発生時の判断はを通して大会本部に連絡して判断を頂く。

- ・ 名古屋市電話相談窓口  
新型コロナウイルス受診・相談センター（24時間受付）052-249-3703
- ・ 熱田保険センター（平日9時～17時30分）052-683-9683
- ・ 中保険センター（平日17時30分～20時 土日祝9時～20時）

### 傷病者の観察・救急対応について

一次対応を行うスタッフの方は、マスク・手袋を着用（可能であればフェイスシールド・防護服も用意）し、対応後には必ずうがい・手洗いを行ってください。感染疑いのある方を休憩させる場所は、必ず通気・換気の良い場所で行ってください。当該人物の退場後は、手の触れた場所などを必ず消毒を行い、換気を行ってください。

## 組織編成表

	団体・会社名	氏名	連絡先
全体総括責任者	JIRA	大塚 正明	070-2474-1085
館内人数管理担当	JIRA	前川 弘己	070-2474-1086
館内環境対策担当	JIRA	前川 弘己	070-2474-1086
傷病者対応担当	JIRA	元木 満	080-5890-5557
検温対応担当	(株)工芸社	浅山 満郎	080-8777-4329
消毒・マスク対策担当	(株)工芸社	浅山 満郎	080-8777-4329
清掃担当	(株)工芸社	根岸 徹	080-8777-4330
衛生対策担当	(株)工芸社	根岸 徹	080-8777-4330

\* JIRA = (一社) 日本画像医療システム工業会

※ 新型コロナ感染の疑い等の問題発生時の判断は学会運営事務局を通して大会本部に連絡して判断を頂く。

# 参加者の安全確保

## 消毒液等の会場設置

### 消毒薬設置場所と本数

会場入口 非接触式（電動式） 2台

休憩スペース

各テーブル 26台

### 消毒液残量確認

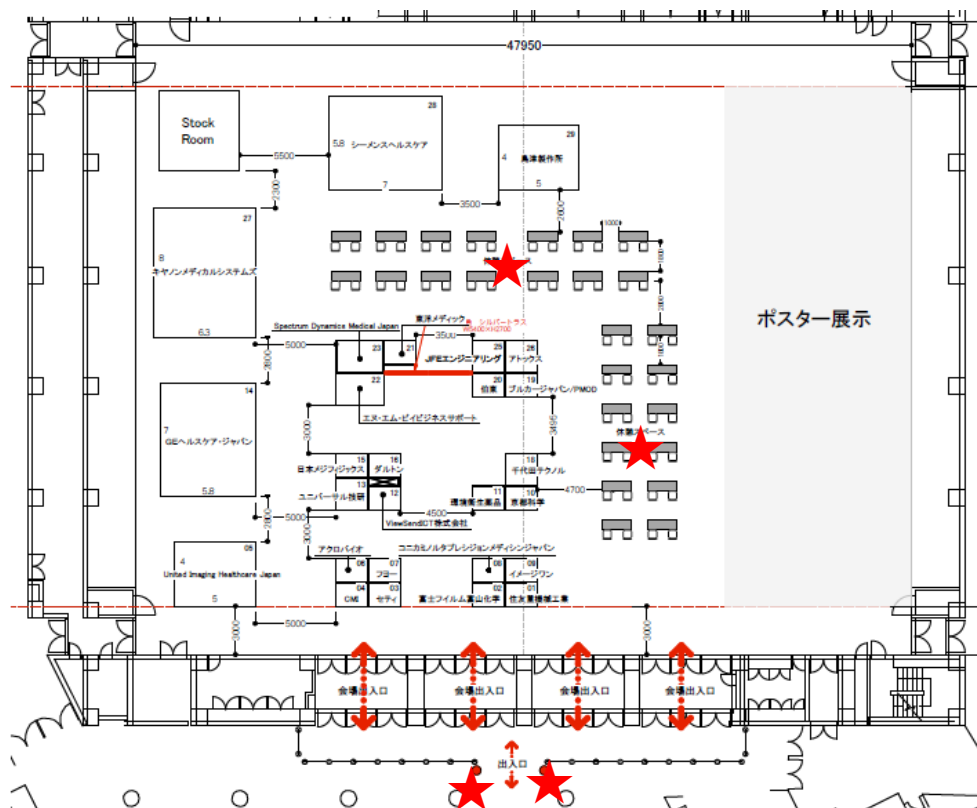
1時間1回程度確認。

消毒薬の残量が半分以下になった場合補充。

### 看板設置

入口に入退場の際は、「係員の指示にしたがって、手指を消毒の上、入退場をお願いします。」の旨のサイン設置。

★消毒液設置場所  
※休憩スペースに関しては、  
非接触式（電動式）の消毒  
スタンド設置  
かつ各テーブルに設置。



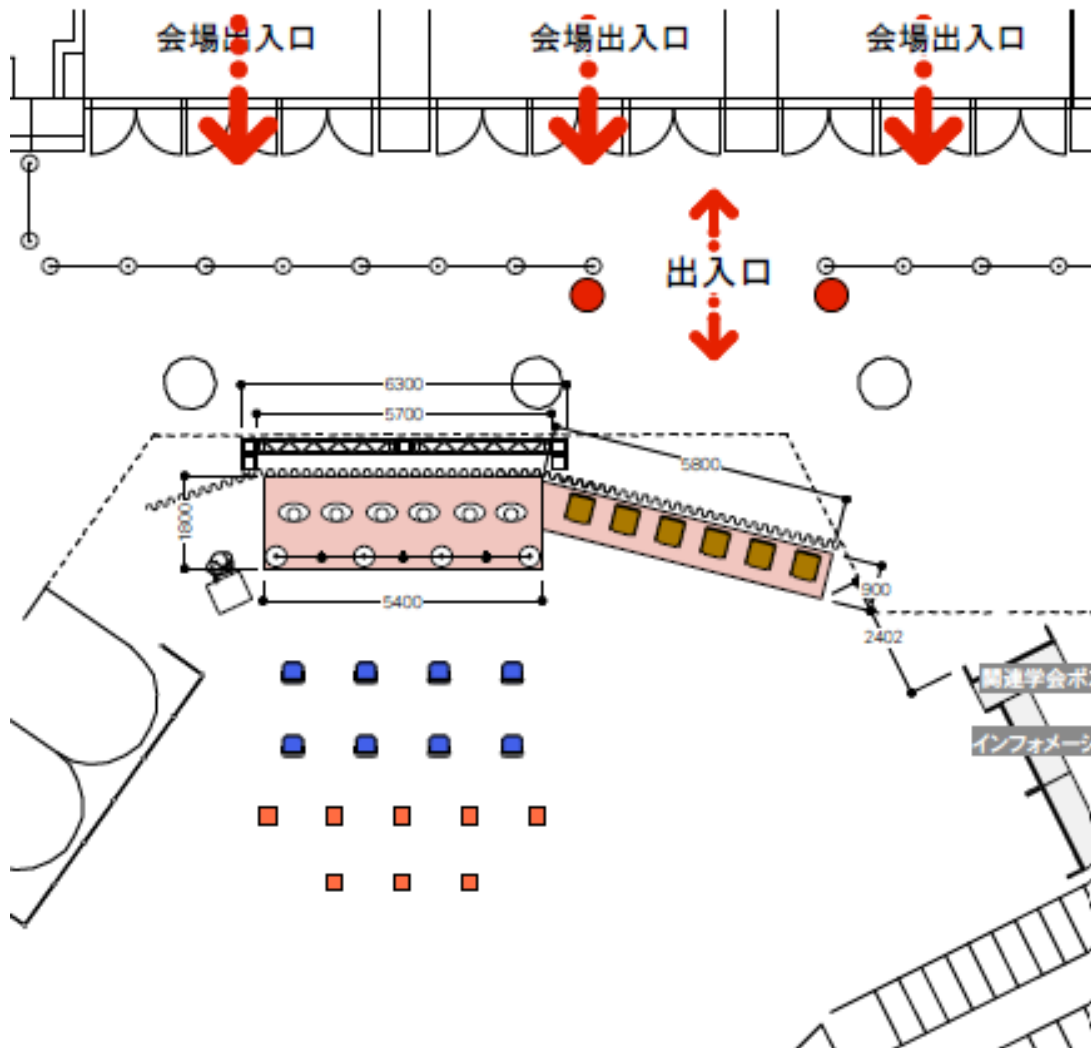
# ソーシャルディスタンスの確保

## 開会式における、距離確保のための印の設置

### 開会式

登壇者同士の距離の確保、前方客席と十分な距離をとることによるソーシャルディスタンスを確保に配慮したレイアウト客席に関してもスペースの関係上着席に関しては2列とし、立見席に関してもソーシャルディスタンス確保に配慮し床に立ち位置を表記した印を設置。

ご挨拶される方の演台や司会者台には飛沫対策用のアクリル板を設置。

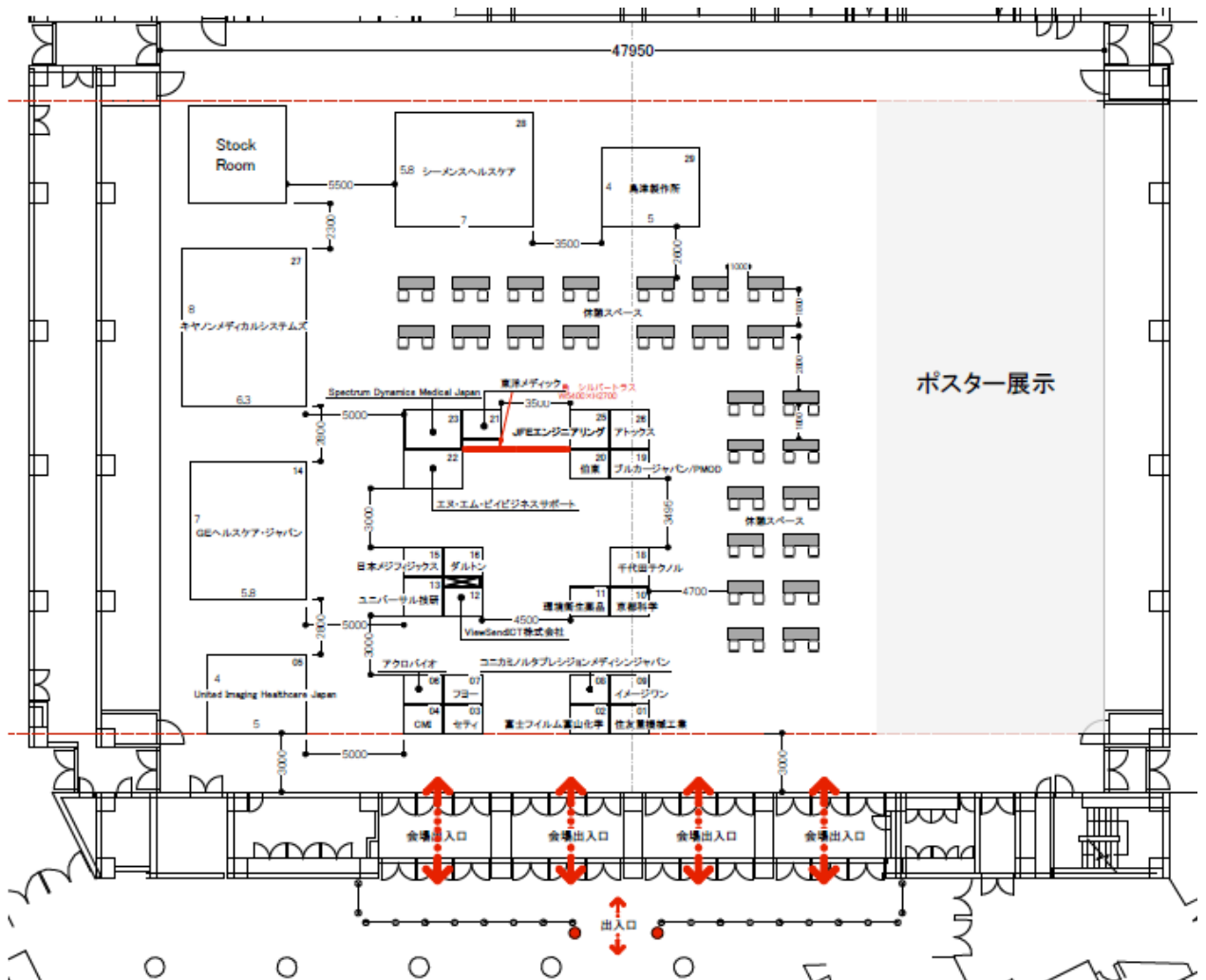


# ソーシャルディスタンスの確保

## ブース間、会場内通路幅の十分な距離の確保

### 小間割図参照

一般社団法人日本展示会協会発行「展示会協会におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」により、3m以上の通路幅を目安としたレイアウトを実施。



# ソーシャルディスタンスの確保

## スタッフ配置場所、休憩コーナーの設置

### 施工時協力会社カウンター

協力会社スタッフはマスクを装着、スタッフ前面への飛散防止用透明アクリルパネルの設置。

### 休憩コーナー

1m以上のソーシャルディスタンスを確保したテーブル椅子の配置。





# 安全対策

## 主催者の行うべき対策

### 搬入時及び搬出時

マスク着用チェック：自社・施工関係・運送会社など全入館者のマスク着用を目視確認し、未着用者への着用依頼の実施。

体温測定器による入館者に対する検温の実施、消毒液の設置。

接触確認アプリCOCOAのインストール、稼働の確認。

展示ホール内空気循環のため搬入出口の常時開放の徹底。

施工中の密防止、手指消毒、手洗いの励行等について、必要に応じ館内アナウンスの繰り返し実施。

全来場者の登録情報(個人情報)を取得し感染発生時に備える。

### 会期中

床面シール等貼付により待機列で人がスペースをあけて並ぶように工夫。

来場者にマスク着用・手洗い励行、接触確認アプリCOCOA、の稼働などのサイン表示を入口付近に設置。

展示ホール入口及び主催者がホール内に設置した休憩スペースなどにアルコール消毒液を設置し、来館者に入館時の手指消毒を係員が実施する。またホール内滞在中の頻繁な手洗いと手指消毒を励行。定期的な見回りによる残量確認と補充及びテーブル・椅子などの清拭消毒。

入館者全員に対しマスク着用の目視確認と未着用者にマスク着用依頼の実施。

展示ホール内空気循環のため、運営・安全面での支障がない範囲での換気。

館内を常時確認し混雑したら入館制限を実施。

密注意、手指消毒、手洗い励行アナウンスの実施：繰り返し行い注意喚起。

# 安全対策

## 主催者の行うべき対策

### 式典

登壇者・司会者の演台に飛沫防止のシールドを設置、または登壇者と聴講最前列の距離は飛沫到達距離である2m程度空ける。

参加者間距離は前後1m、左右は1名分程度空けスペースを確保。密閉度を考量し適切な身体的距離を保つ。

ドアの開放、オープンスペースの実施による密閉防止策と換気。

# 安全対策

## 出展者の行うべき対策

### 全出展者に下記諸注意の依頼及び徹底

#### 搬入時及び搬出時

マスク着用と頻繁な手洗い手指消毒の徹底。

接触確認アプリCOCOAのインストール、稼働の徹底。

自社ブースに設営、搬入等で参加した自社スタッフの日別名簿の作成。  
日別名簿書式（別途配布）11月2日、3日の設営、搬入終了時及び6日搬出終了時、毎日JIRA運営事務局に必ず提出の上退館。

#### 会期中

マスク着用と頻繁な手洗い手指消毒の徹底。

接触確認アプリCOCOAのインストール、稼働の徹底。

スタッフ全員のマスク着用の徹底と、商談や説明時なども含め大声での会話を控える。

自社ブースに説明等で参加した自社スタッフの日別名簿の作成。  
日別名簿書式（別途配布）11月4日～6日終了時、毎日JIRA運営事務局に必ず提出の上退館。

自社ブース内の高頻度接触部位（出展製品、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、キーボード、タブレット、タッチパネルなど）を、各社責任をもって、毎日複数回消毒。  
商談に使用するテーブル・椅子や製品などは商談毎に消毒。

自社ブースの来客状況によりデモンストレーションや商談時間を柔軟に調整し、密な状況を作り出さないよう、可能な限り配慮する。

外出や商談後にスタッフの手指の消毒を徹底。

閉館時間になったら速やかに商談を終えて来場者に退館を促す。

## 安全対策

### 来場者に促すべき対策

商談希望の出展者との商談日時は極力事前に調整。

当日の検温と体調の確認をし、発熱や体調不良があれば来場を自粛。

会場ではマスクの着用と頻繁な手洗い・消毒を実施し、密になり得る状況での長時間の商談は避ける。

接触確認アプリCOCOAのインストールし稼働を強く推奨。

商談や訪問したブースについては可能な限り日時・相手先担当者等について記録。

## 安全対策

### 廃棄物の処理、館内巡回清掃、消毒の徹底

#### 清掃範囲

展示会共用部 名古屋国際会議場手配の清掃会社

展示ホール内の清掃…主催者手配の清掃会社

#### 注意事項

清掃スタッフはマスクなどの着用を徹底。手袋を着用する場合には適切に交換を実施。

マスクや手袋を脱いだら、手洗いまたは消毒液による手指消毒を実施。

休憩コーナー等は定期的に消毒作業実施。

# 安全対策

## 追跡、接触確認アプリのインストールの登録

入口付近には厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の登録をお願いする看板を設置する。

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

**自分をまもり、大切な人をまもり、  
地域と社会をまもるために、  
接触確認アプリをインストールしましょう。**

厚生労働省  
**新型コロナウイルス  
接触確認アプリ**  
(略称：COCOA)  
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の  
感染者と接触した可能性について、通知を受け取  
ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、  
スマートフォンの近接通信機能（ブルートウ  
ース）を利用して、お互いに分からないようプ  
ライバシーを確保して、新型コロナウイルス感  
染症の陽性者と接触した可能性について、通知  
を受け取ることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性があるこ  
とで、検査の受診など保健所のサポートを早く  
受け取ることができます。利用者が増えることで、  
感染拡大の防止につながることを期待されます。

**1メートル以内、15分以上の接触した可能性**

・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外には送れません。  
どこで、いつ、誰と接触したのかも、互いにわかりません。  
・記録はあくまで接触の可能性（ランダムな発明）を記録します。  
・感染源は4日以内の記録に限定されます。  
・感染源、位置情報などが特定される情報は記録しません。  
・Bluetoothをオフにすると機能は記録しません。

iPhoneの方はこちら  
App Store  
からダウンロード

Androidの方はこちら  
Google Play  
でダウンロード

詳しくはこちら  
厚生労働省  
ウェブサイト

厚生労働省  
内閣官房  
新型コロナウイルス感染症対策推進室  
情報通信技術(IT)総合戦略室